

～ 清明と穀雨 ～ 季節は春から初夏の準備へ

4月の二十四節気は、上旬の清明（せいめい）と、下旬の穀雨（こくう）です。

清明は、清浄明潔（せいじょうめいけつ）の略と言われ、すべてのものが清らかで明るい、という意味で南東からの心地よい風が吹く、春の穏やかな季節です。

穀雨は、穀物を育てる雨が降り芽を出させる、という百穀春雨（ひゃっこくはるさめ）が由来のようです。「清明になると雪が降らなくなり、穀雨になると霜が降りることもなくなる」という言葉があり、穀雨は農作業の目安になるようです。

ところで、2019年4月の天候概況は、高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。北日本から西日本では、高気圧に覆われ晴れの日が多く、東日本では、4月下旬にかけ、低気圧や湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多い天候でした。

ちなみに平成最後の日、2019年4月30日も、ほぼ全国的に雨でした。

また気温も大きく変動し、東京の最高気温において、10度の日（2019年4月10日）もあれば、夏日の25度の日（2019年4月22日）もありました。

しかしそれらは、春から初夏へ移り変わる季節の特徴と言えるでしょう。



昨年5月から開始しました、二十四節気コラムも1年が廻り、今月4月号をもって最終回とさせていただきます。長い間ありがとうございました。

次回からは防災やお天気豆知識などをお届け予定です。今後ともよろしくお願ひ致します。

株式会社エーティーティーソリューションズ  
気象予報士 小川浩史

